

## ギニア

### 主要データ

国名〔英名〕	ギニア共和国 [Republic of Guinea]
面積 (km <sup>2</sup> )	245,857
海岸線延長 (km)	320
人口 (百万人)	10.6
人口密度 (人/km <sup>2</sup> )	43.1
GDP (百万 US\$)	4,633
一人当り GDP (US\$)	448
主要鉱産物：鉱石	ボーキサイト、金
主要鉱産物：地金	なし
鉱業管轄官庁	鉱山省 (The Ministère des Mines)
鉱業関連政府機関	鉱業開発投資促進センター (Centre de Promotion et de Developpement Miniers)
鉱業法	Mining Code (鉱業法)
ロイヤルティ	ベースメタルの鉱石：7%、精鉱：3.5% ボーキサイトの鉱石：10%、アルミナ：5%
外資法	なし
環境規制法 (環境影響調査制度、環境・排出基準の有無等)	なし
鉱業公社	Campagnie des Bauxitee de Guinee (CBG)
鉱業活動中の民間企業	AngloGold Ashanti Ltd、UC Rusal
近年の鉱業関連問題 (資源ナショナリズム、労働争議、環境問題等)	・ 2010年3月 UC Rusal とギニア政府間の Friguia 製錬所売買契約の有効性を争う控訴審で UC Rusal 側が勝訴した。
2010年のトピックス	・ Simandou Block 1&2 鉄鉱石プロジェクトの権益 51%を Vale が獲得。 ・ Simandou Block 3&4 鉄鉱石プロジェクトでは、Chinalco が 35.72%の権益とオペレーターシップを獲得。 ・ 独立以来初の民主的選挙を経てアルファ・コンデ大統領が就任

### 1. 鉱業一般概況

ギニアは、世界で第5位のボーキサイト生産国であり、2010年は2009年比13.2%増の1,669万tが生産された。ギニアはボーキサイトの世界最大級の埋蔵量を誇り74億tと言われている。他の鉱産物としては、セメント、ダイヤモンド、金、岩塩が生産されている。また、黒鉛、鉄鉱石、石灰岩、マンガン、ニッケル、ウランが確認されており、鉄鉱石については、埋蔵量は100億tとも言われている。

鉱山省 (Ministère des Mines) は、鉱業分野の監督機関である。ギニアの鉱業法 (Mining Code) は1995年と1998年に改正されている。鉱業関係の投資を扱う鉱業開発投資促進センター (Centre de Promotion et de Developpement Miniers) が鉱業法を基に設立されている。

2007年2月にクヤテ新首相が選任され、政府は財政健全化、経済の安定、統治の改革のための新・経済計画を発表し、構造調整プログラムに着手した。IMF や世界銀行の支援を受け、2007年7月より

鉱業法と鉱業契約の見直し、特に鉱業税制の見直しを始めた。

しかしながら、2008年12月22日、コンテ大統領が病気により死去。その翌23日に、ムサ・ダディス・カマラ大尉を中心とする「民主主義と発展のための国民評議会（CNDD）」がクーデターにより政権を掌握し、暫定軍事政権が発足。国際社会はクーデターを非難し、African Union(AU)や、Economic Community Of West African States (ECOWAS)等はギニアの参加資格を凍結した。

暫定軍事政権は、新しい体制が確立するまで全鉱山の操業停止を命じたが、翌日にはその決定は取り消された。その後、カマラ大尉は、鉱山企業と個別に結んでいる鉱業契約の見直しを宣言。軍事政権は、前鉱山大臣の逮捕や鉱山閉鎖をちらつかせて各鉱山会社への圧力を強めた。

2008年12月、暫定軍事政権はSimandou Block 1&2 鉄鉱石プロジェクトの探鉱権をRio Tintoから没収。本鉱区は2009年7月、イスラエルのダイヤモンド富豪 Beny Steinmetz 氏が保有する BSG Resources (英) に付与された。2010年5月に Vale は、BSG Resources 社が保有する株式 51%を 25 億 US\$にて取得。これにより Simandou Block 1&2 鉄鉱石プロジェクトの権益は、Vale が 51%、BSG Resources が 49%となり、現在建設中である。今後 2012 年に年産 1,000 万~1,500 万 t の規模で操業を開始し、最終的に 2014 年までに年産 5,000 万 t まで拡張する計画である。

また暫定軍事政権は、前政権時に締結された Friguia アルミ製錬所の UC Rusal (露) への売却契約について、価格が不当に低かったとしてギニアの国内裁判所へ提訴した。一審では政府側勝訴、2010年3月の控訴審では Rusal 側が勝訴している。2010年6月には、ロシア政府も加わりこの問題について協議が行われた。これに関連し 2009年4月、同アルミ製錬所の賃上げをめぐるストライキが発生したが、同製錬所の賃金水準は同国ではトップレベルにあり、最終的に賃上げがないままにストライキが収束したため、同製錬所の奪還を狙う同軍事政権による主導で行われたとメディアは分析している。2009年9月には、環境税未納との理由により同製錬所の製品（アルミナ）がコナクリ港で税関当局により輸出を一時差し止められる事件が発生している。

2009年12月、カマラ大尉は頭部に銃弾を撃たれたことから、治療のためモロッコに国外退去。2010年にコンパオレ・ブルキナファソ大統領の調停の下に結ばれた「ワガドゥグ共同宣言」に基づき、コテナ暫定大統領の下、野党党首ドーレ氏が首相として参画する暫定国家統一政府が発足。2010年6月（第1回投票）及び11月（第2回投票）により行われた大統領選挙の結果、12月にアルファ・コンデ大統領が就任した。アルファ・コンデ大統領は 1958 年の国家独立以来、民主的なプロセスを経て選出された初めての大統領である。

上記の Simandou Block 1&2 鉄鉱石プロジェクトは最もステージが進んでいるプロジェクトであるが、他にも現在 F/S 実施中の大型プロジェクトとして、Simandou Block 3&4 プロジェクトや Kalia プロジェクトがある。Simandou Block 3&4 プロジェクトの精測及び概測資源量は約 11 億 t、鉄品位は 65.997% であり、世界でも指折りの大規模案件である。生産開始は 2015 年を予定。2010年3月に Rio Tinto は Chinalco と MOU を締結し、Chinalco が 13.5 億 US\$ を投資して、35.72%の権益比率で参画することとなった。また、ギニア政府も参画することとなり、最終的な権益比率は、Chinalco が 35.72%でオペレーターシップを有し、Rio Tinto が 40.28%、ギニア政府 20%、IFC が 4%となっている。また、Kalia プロジェクトはコナクリの北東約 200km の内陸に位置し、精測及び概測資源量 1 億 8,500 万 t、鉄品位は 27.69%である。生産開始は 2014 年を予定。権益比率は Bellzone Mining 社（豪）が 100% 保有しているが、鉄道整備に関し中国国際基金有限公司（CIF）が支援を行っており、CIF は年間 1,300 万 t の鉱石引取権を保持している。

## 2. 鉱業政策の主な動き

現行鉱業法では、政府は” Founder’ s Share” として 15%の権益を無償で取得できることになっているが、2011年3月アルファ・コンデ大統領は新鉱業法策定を検討していることを明らかにし、新鉱業法では政府の参画比率を33%にまで引き上げる方針を示した。参画比率の引き上げは、既存のプロジェクトも対象となる可能性がある。新鉱業法の検討にあたり、世界的な投資家であるジョージ・ソロス氏を検討委員会の委員に任命した。

## 3. 主要鉱産物の生産・輸入・消費・輸出動向

### (1) 主要金属鉱石生産量

表 3-1. 金属鉱石生産量

鉱種	2008年	2009年	2010年	対前年増減比(%)
ボーキサイト(千t)	17,682.3	14,741.6	16,684.9	13.2
金(t)	19.9	17.5	24.7	41.1

(出典: World Metal Statistics Yearbook 2011)

### (2) 主要金属地金生産量

データなし

### (3) 主要金属消費量

データなし

### (4) 主要金属輸出量

データなし

### (5) 主要金属輸入量

データなし

## 4. 鉱山・製錬所状況

表 4-1. 鉱山一覧

鉱山名	権益所有企業(権益:%)	鉱種	2010年生産量
Boke(Sangaredi) 鉱山	Halco(Mining) Inc (51) ギニア政府 (49) (Halcoの株式45%はAlcoaが所有)	ボーキサイト	1,240万t
Fria 鉱山	United Company Rusal(100)	ボーキサイト	210万t
Kindia 鉱山	United Company Rusal(100)	ボーキサイト	290万t
Lefa Corridor 鉱山	Crew Gold Corp(100)	金	2.8t
Siguiri 鉱山	AngloGold Ashanti Ltd.(85) ギニア政府 (15)	金	9.9t

表 4-2. 製錬・精錬所生産状況

	権益所有企業(権益:%)	鉱種・形態	生産量	備考
Kimbo(Friguia) アルミナ精錬所	United Company Rusal(100)	アルミナ	53万t	2009年生産量 国内唯一のアルミナ精錬所 精錬能力は70万t

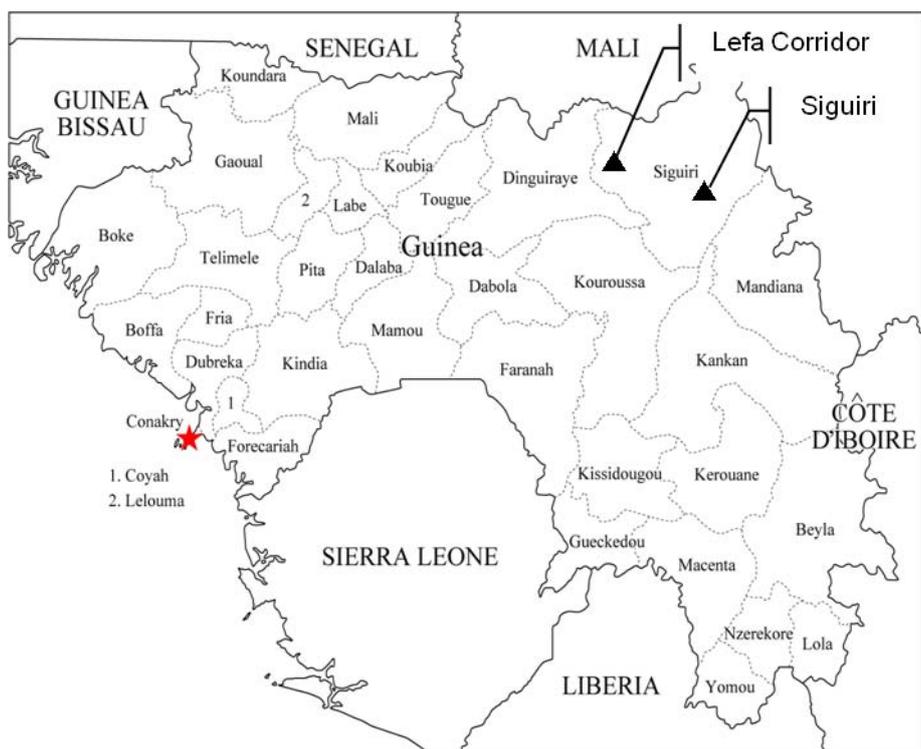


図 1. 主要鉱山位置図

## 5. 探鉱状況

表 5-1. 主要探鉱プロジェクト一覧

ステージ	プロジェクト名	鉱種	権益所有企業（権益：%）
開発段階	Simandou	鉄鉱石	Vale SA (51), BSG Resources Ltd(49)
F/S 段階	Kalia	鉄鉱石	Bellzone Mining plc (100.0), 中国国際基金有限公司 (CIF) が港湾・鉄道整備を支援し、鉱石引取り権を有している模様。）
試錐探鉱段階	Nimba	鉄鉱石	BHP Billiton Group(100)
	Simandou Blocks 3 & 4	鉄鉱石	Aluminum Corp of China Ltd (35.72), Rio Tinto plc (40.28), ギニア政府 (20.0), IFC (4)
	Firawa	ウラン, ランタン	Forte Energy NL (100)
物理探査段階	Forecariah	鉄鉱石	Bellzone Mining plc (50), 中国国際基金有限公司 (CIF) (50)
初期探鉱段階	Mount Kakoulima	ニッケル, 銅, コバルト, パラジウム, プラチナ	Quadra FNX Mining Ltd (50), Mega Uranium Ltd (50)

## 6. 我が国との関係

### (1) 日本への輸出

データなし

### (2) 日本企業による投資状況等

2006年1月、三菱商事は、同国で日本企業初のボーキサイト独占探査権（期間：3年間）を取得している。

## 7. その他トピックス

- ・ 2010年1月、BHP BillitonとArcelor Mittalは、ギニアとリベリアにおける鉄鉱石生産施設の統合について協議を開始した。
- ・ 2010年3月、Rio tintoは、ChinalcoとShimandau鉄鉱石開発計画を進める合弁事業設立することで合意し、MOUを締結した。Rio Tintoは、Shimandauの権益を新合弁会社に移し、Chinalcoは、合併子会社に13.5億US\$を出資し、Chinalcoが44.65%の権益を取得する。
- ・ 2010年11月、河南国際鉱業有限公司等がボーキサイト鉱床の採掘権を取得した模様。

(2011.7.29 ロンドン事務所 小嶋吉広)